

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)	
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況	
施策領域		第3節 公園・緑地				B	
施策項目		施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出				事業の必要性【市民ニーズ】	
事業		一般事務（緑化推進協議会）				B	
所属		みどりと公園課				事業の効率性【見直す余地】	
事業概要		みどりの保全及び緑化を推進し、良好な生活環境を形成することで、現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを達成するために必要な事項を協議する。また、生産緑地計画図を作成する。				B	
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他				施策への貢献度	
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				A	
根拠法令等		新座市みどりのまちづくり条例				事業の成果・分析	
						令和5年度については、令和5年3月に策定した「新座市みどりの基本計画」の実施計画である「新座市みどりの基本計画アクションプラン第1期」の策定について協議し、今後の「新座のみどり」のあり方について相互理解を深めた。 生産緑地計画図について、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業の影響で例年に比べ生産緑地地区の変更等の件数が多かった。	

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	
予算・決算	予算現額（円）		604,000				II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
	財源内訳	一般財源	604,000					
		特定財源	0					
	支出済額（円）		484,100					
	不用額等（円）		119,900					
執行率（％）		80.15%					今後の取組方針	令和6年度以降については、令和6年3月に策定した「新座市みどりの基本計画アクションプラン第1期」を効果的に推進するため、進捗状況や成果を確認し、評価・改善方法等について協議していく。 また、協議内容の一層の充実に向けて、市内雑木林の現地視察等を検討し「新座市のみどり」についてより理解を深め、みどりの保全及び緑化の推進に係る施策の質の向上を図っていく。 生産緑地計画図について、都市計画変更手続において必要書類となるため引き続き作成していく。
実施内容		新座市緑化推進協議会を開催し、「新座市みどりの基本計画アクションプラン第1期」の策定について必要な事項を協議した。 新座市緑化推進協議会の構成員 12人（市議会議員、学識経験者、市民、市職員） また、令和5年度都市計画生産緑地地区の変更に伴い、都市計画変更手続において必要書類となる生産緑地変更計画図を作成した。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	指標名	単位						
活動指標・成果指標	新座市緑化推進協議会開催回数	回	2					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)		
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況	B A : 計画以上に実施 B : 計画どおりに実施 C : 計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 公園・緑地				事業の必要性【市民ニーズ】	A A : 高まっている B : 変わらない C : 薄れている	
施策項目		施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出				事業の効率性【見直す余地】	B A : 余地はない B : 余地はある	
事業		みどりのボランティア活動				施策への貢献度	A A : 貢献している B : やや貢献している C : 貢献の度合いが低い	
所属		みどりと公園課				事業の成果・分析	新座市グリーンサポーター活動においては、市民の憩いの場として緑を身近に親しんでいただく場として、下草刈り、枯枝集積、落葉収集や園路へのチップ撒き等を行い、緑地の保全に努めた。世話役が主体となり職員が立会い、打合せながら、整備を進めた。新座市緑の保全巡視活動においては、緑の保全巡視員のみで、植物の盗掘や不法投棄等を防止するため巡視を実施した。また、ゴミ収集や動植物の観察も併せて実施した。	
事業概要		市内の緑地の保全と活用を図るため、雑木林の下草刈りや清掃等を行うグリーンサポーターの活動や緑地内の植物の盗掘・不法投棄等を防止する緑の保全巡視員の活動など、市民参加による緑地保全・緑化推進活動を推進する。						
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他						
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度						
根拠法令等		新座市グリーンサポーター設置要綱、新座市緑の保全巡視員設置要綱						
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div> <div>Ⅱ</div> <div> I : 事業規模拡大 II : 改善しながら継続 III : 現状のまま継続 IV : 事業規模縮小 V : 事業廃止 VI : 事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)	973,000						
	財源内訳	一般財源	973,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)	956,155						
	不用額等 (円)	16,845						
執行率 (%)		98.27%						
実施内容		市内の緑地の保全と活用を図るため、管理緑地の下草刈りや清掃等を行うグリーンサポーターを年度内で41回実施した。緑地内の植物の盗掘・不法投棄等を防止する緑の保全巡視員の活動を随時実施した。また、野寺カタクリ山（野寺三丁目保全緑地）の開園に当たり、園内の維持管理作業を実施した。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div> 新座市グリーンサポーターの人数は令和6年4月3日現在で48名であり、8箇所の緑地を各2回～6回程度作業を実施している。 今後10年先を見据えた場合、現時点でボランティアの人員が高齢の方が多いため、人員の減、他課所管のボランティア団体との兼ね合いもあるが、新規加入のボランティア人員の確保が必要である。 人員確保については、今後ホームページや広報での募集と合わせて、活動日に「人員募集のぼり旗」の掲示やパンフレットを配置し募集を掛けるなどの対策をする。 新座市緑の保全巡視員の人数は令和6年4月3日現在で22名で、高齢化が進んでいるため、引き続きホームページや広報で募集を掛けている。 </div>	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	新座市グリーンサポーター活動参加人数	人(延べ)	567					
	新座市緑の保全巡視活動参加人数	人(延べ)	232					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）	
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】	事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第3節 公園・緑地	事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出	事業の効率性【見直す余地】	A A：余地はない B：余地はある
事業	みどりの保全協定緑地等管理	施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	みどりと公園課	事業の成果・分析	適切な時期に適切な方法で管理することができた。 ナラ枯れに係る整備については、伐採等の外に植栽及び燻蒸処理を併せて行った。
事業概要	樹木等が一同となって存する緑地で、その面積がおおむね330平方メートル以上の樹林及び緑地について、相当の期間を定めて、当該緑地の所有者等とみどりの保全協定を締結し、市民に開放するために市民憩いの森として整備し、管理する。		
実施形態	■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他		
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度		
根拠法令等	新座市みどりのまちづくり条例		

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
予算・決算	予算現額（円）		38,123,000				今後の方向性	Ⅲ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
	財源内訳	一般財源	24,563,000							
		特定財源	13,560,000							
	支出済額（円）		37,564,631							
	不用額等（円）		558,369							
	執行率（％）		98.54%							
実施内容		利用者及び近隣の安全対策等のため、管理緑地において越境枝の剪定、枯れ木の伐採等を実施した。 市民憩いの森において、障がい者団体による清掃業務を実施した。					今後の取組方針			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	みどりの保全協定緑地等保全箇所数	か所	16							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)				
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 公園・緑地					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある	
事業		みどりの保全協定緑地等施設整備					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		みどりと公園課					事業の成果・分析		市民の憩いの場として、安全に利用していただくよう、経年による劣化や損傷した施設を修繕し利用していただいている。		
事業概要		市民が自然に親しみながら緑の多い憩いの場として利用できるよう、みどりの保全協定緑地（憩いの森）及び保全緑地の整備、維持管理及び補修等を行う。									
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度									
根拠法令等		新座市みどりの保全協定書									

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	13,300,000								
	財源内訳	一般財源	13,300,000							
		特定財源	0							
	支出済額（円）	12,898,600								
	不用額等（円）	401,400								
執行率（％）		96.98%								
実施内容		市内管理緑地において、市民開放に向けての整備工事、施設の突発修繕等を実施した。					今後の取組方針			今後も継続して、市内管理緑地において、市民開放に向けての整備工事、施設の突発修繕等を実施していく。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	堀ノ内二丁目保全緑地 樹木伐採抜根本数	本	49							
	妙音沢緑地柵補修延長	m	48							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第3節 公園・緑地					事業の必要性【市民ニーズ】		A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 良好な自然環境の保全、活用、創出					事業の効率性【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある
事業		緑化推進助成					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		みどりと公園課					事業の成果・分析		事業として継続はできているが、近年拡大している「カシノナガキクイムシ」による「ナラ枯れ」の影響により、平林寺境内地の樹木を含めた市内雑木林の樹木の枯死が広がっており、管理費が増大しているため、助成金の増額を検討していく必要がある。	
事業概要		平林寺境内木の樹木の保全を目的として、平林寺に対し、管理費の一部を助成する。								
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等		緑地保全特別助成金交付要綱								

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	300,000								
	財源内訳	一般財源	300,000							
		特定財源	0							
	支出済額（円）	300,000								
	不用額等（円）	0								
執行率（％）		100.00%								
実施内容		平林寺に対し、平林寺境内地の樹木の保全及び管理を目的とした管理費の一部を助成した。 助成金額：300,000円					今後の取組方針			助成金の増額を検討しながら、新座市の代表的な雑木林である平林寺境内地の樹木の保全の一助となるよう事業を継続していく。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	助成件数	件	1							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)	
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第3節 公園・緑地				事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実				事業の効率性【見直す余地】	A A：余地はない B：余地はある
事業		一般事務（大和田三丁目公園整備検討協議会）				施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		みどりと公園課				事業の成果・分析	本協議会は、令和6年度末に整備完了を予定している大和田水辺の丘公園について、地域の方や各関係者の意見及び要望を聴取するため、開催しており、協議会では各会員から活発な意見を頂いている。第三者として参考になる意見をいただいており、設計に反映等している。名称の決定方法についても、会員の意見を反映させた。
事業概要		令和6年度に整備完了を予定している(仮称)大和田三丁目公園について、地域の皆様や各関係者の意見及び要望を聴取するために必要な事項を協議する。					
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他					
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度					
根拠法令等		大和田水辺の丘公園整備検討協議会開催要綱					

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）	5,566,000							
	財源内訳	一般財源	5,566,000						
		特定財源	0						
	支出済額（円）	5,207,921							
	不用額等（円）	358,079							
執行率（％）	93.57%								
実施内容		令和6年度末に整備完了を予定している大和田水辺の丘公園について、地域の方や各関係者の意見及び要望を聴取するため、協議会を開催した。 大和田水辺の丘公園整備検討協議会 構成員 20人 <令和5年4月21日開催> 審議内容 基本設計案及び今後の工事について <令和5年12月21日開催> 審議内容 今後の工事予定及び公園名称の決定について					今後の取組方針	令和6年度の本公園の完成まで継続して、本事業は行う。	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	協議会開催回数	回	2						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）	
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】	事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第3節 公園・緑地	事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策2 憩いの場となる公園の充実	事業の効率性【見直す余地】	A A：余地はない B：余地はある
事業	公園管理	施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	みどりと公園課	事業の成果・分析	必要な修繕・清掃・除草・樹木剪定等を行ったことによって、安全で快適な公園環境を維持することができた。
事業概要	市民が都市公園等を安全で快適に利用できるように、修繕（遊具、トイレ、水道、ベンチ、園内灯等）、清掃、除草、樹木剪定等の施設の維持管理を行う。 栄緑道については、公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者とする（令和4年度～令和6年度）。		
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 ■全部委託・指定管理 □その他		
実施根拠	■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度		
根拠法令等	都市公園法		

2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）			
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）		145,409,000							
	財源内訳	一般財源	142,408,000							
		特定財源	3,001,000							
	支出済額（円）		142,485,701							
	不用額等（円）		2,923,299							
	執行率（％）		97.99%							
実施内容			市民が公園を安全で快適に利用できるように、遊具・トイレ・水道・ベンチ・園内灯等の修繕、公園の清掃、除草、樹木剪定等を行い、安全かつ有効に利用されるよう各施設の維持管理を行った。 対象施設 都市公園・準公園・ポケットパーク 計178か所				今後の取組方針	公園を安全で快適に利用できるように、日常的に点検を行いながら、必要な修繕・清掃・除草・樹木剪定等を実施し、良好な公園環境の維持管理に努める。		
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度	
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	除草・樹木剪定・伐採業務委託件数	件	110							
	管理・清掃・点検業務委託件数	件	16							
	施設修繕件数	件	34							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）		
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】	事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第3節 公園・緑地			
施策項目	施策2 憩いの場となる公園の充実	事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業	公園施設整備			
所属	みどりと公園課	事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
事業概要	1 都市公園等について、各施設の遊具などの維持補修や園内の改良改修を行う。 2 （仮称）大和田三丁目公園整備について、設計及び工事を一括で行う。 3 新座セントラルギッスパークを整備するため、多目的広場等の工事を行う。 4 野火止フォレストパークの新たな出入口を整備するため、通路等に係る改良改修工事を行う。			
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他	施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
実施根拠	■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度			
根拠法令等	都市公園法	事業の成果・分析		1 施設の維持補修、改良改修工事を行うことによって、公園を安全で快適に利用することができている。 2 整備検討協議会等の意見を参考にしつつ、問題なく事業実施できている。 3 多目的広場等の工事を実施し、計画していた全ての公園整備が完了した。 4 出入口及び通路の整備工事を実施し、計画していた全ての工事が完了した。

2 事業実績（Do）							
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		390,388,000				
	財源内訳	一般財源	122,888,000				
		特定財源	267,500,000				
	支出済額（円）		381,098,790				
	不用額等（円）		9,289,210				
	執行率（％）		97.62%				
実施内容			1 職員による日常点検や遊具業者による年1回の遊具点検を行い、必要に応じて、維持補修や改良改修工事を実施した。 2 (仮称)大和田三丁目公園整備について、設計及び工事を一括で事業実施中。 3 新座セントラルキッズパークについて、多目的広場等の工事を実施した。 4 野火止フォレストパークについて、新たな出入口整備工事を実施した。				
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	指標名	単位					
活動指標・成果指標	維持補修	件	4				
	改良改修工事件数	件	28				

4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）		
今後の方向性	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
今後の取組方針		1 公園を安全で快適に利用できるように、引き続き施設点検を行い、維持補修、改良改修工事を行っていく。 2 引き続き、各関係者の意見を取り入れながら整備を実施していく。 3 事業が終了したため、今後の取組方針はない。 4 事業が終了したため、今後の取組方針はない。

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)		
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況		B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第3節 公園・緑地				事業の必要性【市民ニーズ】		B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実				事業の効率性【見直す余地】		A A：余地はない B：余地はある
事業		石神三丁目緑地用地取得				施策への貢献度		A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		みどりと公園課				事業の成果・分析		石神三丁目緑地について、市有地になったことにより、恒久的に都市公園として維持していくことができるようになった。
事業概要		相続の発生に伴い、現在借地している石神三丁目緑地用地を購入する。						
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等		なし						

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性 VI I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
予算・決算	予算現額（円）	239,493,000							
	財源内訳	一般財源	60,293,000						
		特定財源	179,200,000						
	支出済額（円）	239,492,100							
	不用額等（円）	900							
執行率（％）		100.00%							
実施内容		石神三丁目緑地については、これまで借地による都市公園として市民に開放していたが、相続の発生に伴い、公園用地の買い取り要望を受けた。貴重な緑地を保全し、引き続き都市公園として維持していくため、令和5年7月、市は土地所有者と土地売買契約書を締結し、当該公園用地を取得した。					今後の取組方針 事業が終了したため、今後の取組方針はない。		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	契約件数	件	1						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第3節 公園・緑地					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある
事業		児童遊園管理					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		みどり公園課					事業の成果・分析		必要な修繕・清掃・除草・樹木剪定等を行ったことによって、安全で快適な環境を維持することができた。	
事業概要		市民が児童遊園を安全で快適に利用できるように、修繕（遊具、トイレ、水道、ベンチ、園内灯等）、清掃、除草、樹木剪定等の施設の維持管理を行う。								
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他								
実施根拠		■国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度								
根拠法令等		児童福祉法								

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	51,622,000							
	財源内訳	一般財源	51,622,000						
		特定財源	0						
	支出済額（円）	51,267,645							
	不用額等（円）	354,355							
執行率（％）	99.31%								
実施内容		市民が安全かつ有効に利用できるよう、児童遊園の遊具・トイレ・水道・ベンチ・園内灯等の修繕、児童遊園の清掃、除草、樹木剪定など、各施設の維持管理を行った。 対象施設 児童遊園 59か所					今後の取組方針		児童遊園を安全で快適に利用できるように、日常的に点検を行いながら、必要な修繕・清掃・除草・樹木剪定等を実施し、良好な児童遊園環境の維持管理に努める。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	除草・樹木剪定・伐採業務委託件数	件	42						
	清掃業務委託件数	件	6						
	施設修繕件数	件	16						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)							
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域		第3節 公園・緑地					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある				
事業		児童遊園施設整備					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属		みどり公園課					事業の成果・分析		施設の維持補修、改良改修工事を行うことによって、公園を安全で快適に利用することができている。 馬場一丁目児童遊園について移設工事を実施し、計画していた全ての公園整備が完了した。					
事業概要		児童遊園について、安全で快適に利用できるよう、各施設の遊具などの維持補修や園内の改良改修を行う。 馬場一丁目児童遊園について、移設等に係る整備を行う。												
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他												
実施根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度												
根拠法令等		児童福祉法												
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度				
予算・決算	予算現額 (円)		44,924,000								今後の方向性	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
	財源内訳	一般財源	44,924,000											
		特定財源	0											
	支出済額 (円)		40,882,196											
	不用額等 (円)		4,041,804											
	執行率 (%)		91.00%											
実施内容			職員による日常点検や遊具業者による年1回の遊具点検を行い、必要に応じて、維持補修や改良改修工事を実施した。 馬場一丁目児童遊園について移設の工事を実施した。											
年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針	
	指標名	単位												
活動指標・成果指標														

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)		
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】				事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 公園・緑地				事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実				事業の効率性【見直す余地】	B A：余地はない B：余地はある	
事業		総合運動公園管理				施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		みどり公園課				事業の成果・分析	総合運動公園を含む体育施設等指定管理は、体育施設等に指定管理者制度を導入した平成25年度以降、公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者として施設の管理を行わせている。このため、当協会の蓄積されたノウハウのもとで適切に運営管理が行われた結果、安全かつ快適な公園利用に貢献した。	
事業概要		市民を始め、多くの人々に利用される市のスポーツ・レクリエーションの拠点である総合運動公園について、安全かつ快適に利用できるよう運営管理を行う。 公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者とする（令和4年度～令和6年度）。						
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 ■全部委託・指定管理 □その他						
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度						
根拠法令等		都市公園法						
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div> <div>Ⅱ</div> <div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額（円）	73,783,000						
	財源内訳	一般財源	70,783,000					
		特定財源	3,000,000					
	支出済額（円）	72,108,824						
	不用額等（円）	1,674,176						
執行率（％）		97.73%						
実施内容		総合運動公園については、平成8年10月からの供用開始以降、市のスポーツ・レクリエーションの拠点として、市民を始め、多くの人々に利用されている。運営管理については、公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者として施設の管理を行わせて一方、市は、緊急を要する施設修繕や樹木剪定等を行った。また、当該公園用地66,534.25㎡の土地所有者34名に対し、用地補償金を支払った。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div> <div>Ⅱ</div> <div> 指定管理に係る施設使用料については、地方自治法第244条の2第8項に定める利用料金制を採用せず、市の歳入として取り扱ってきた。令和7年度以降の指定管理者選定方法については、民間事業者を含めた公簿とすることを決定し、利用料金制を採用することで、経営努力による使用料収入の増加及びより質の高い施設管理が期待される。 </div> </div>	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	新座市体育施設等の管理運営に係る基本協定	件	1					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)				
基本政策		第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 公園・緑地					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策2 憩いの場となる公園の充実					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある	
事業		総合運動公園施設整備					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		みどり公園課					事業の成果・分析		令和5年度については、総合運動公園水道水栓設置工事及び総合運動公園牡丹園防草シート更新工事の2件を実施した結果、安全かつ快適な公園利用に貢献した。		
事業概要		市民を始め、多くの人々に利用される市のスポーツ・レクリエーションの拠点である総合運動公園について、安全かつ快適に利用できるよう、各施設の改良改修を行う。									
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度									
根拠法令等		都市公園法									
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		780,000								今後の方向性 III I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
	財源内訳	一般財源	780,000								
		特定財源	0								
	支出済額 (円)		770,000								
	不用額等 (円)		10,000								
	執行率 (%)		98.72%								
実施内容		総合運動公園については、平成8年10月からの供用開始以降、市のスポーツ・レクリエーションの拠点として、市民を始め、多くの人々に利用されている。市は、苦情や要望等による突発的な施設改修等を行った。									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位									今後の取組方針 今後についても、苦情や要望等による突発的な施設改修等を行っていく。
	施設改良改修工事	件	2								